

特集

Special Feature

- 1 卒業生アンケート結果からみる帝塚山大学
- 2 大学生の連携による食育活動の取組
食物栄養学科ヘルスチーム菜良・
農林水産大臣表彰受賞



- 5 卒業生紹介
- 6 キャンパスレポート
- 10 就職支援の取組み
- 11 後援会だより
- 12 クラブ・サークル活動

- 14 研究室訪問
- 15 クローズアップニュース
- 16 帝塚山 NEWS&TOPICS
- 18 お知らせ・イベントニュース



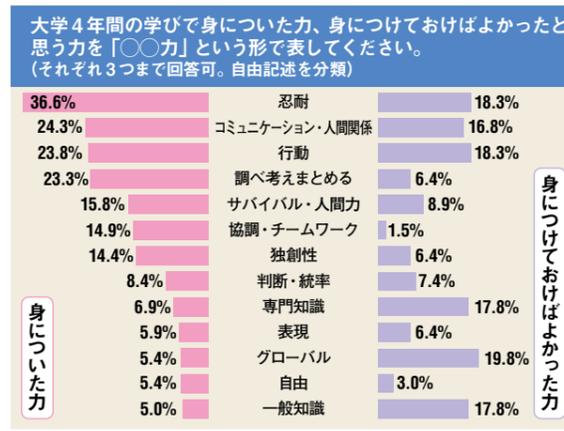
帝塚山大学公式イメージキャラクター
「てじかっきー」

卒業生アンケート結果からみる帝塚山大学

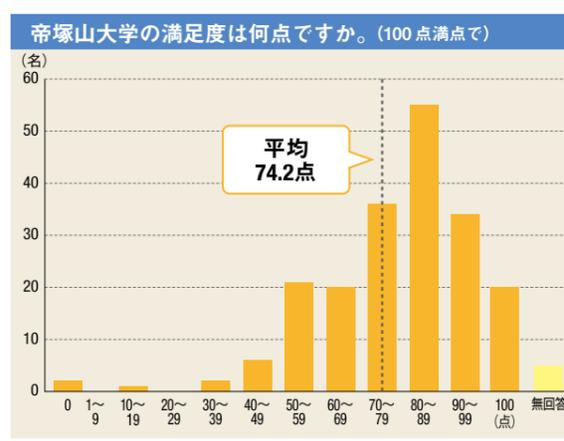
本学ではこれまで、在学生を対象とした授業改善アンケートや学生生活意識調査のほか、入学時や卒業時などに各種アンケートを実施し、学生の現況を把握するとともに、その結果を教育や学生支援に生かすよう努めてきました。今回、ここからさらに「卒業生」の実態をとらえるために、就職面だけでなく、学生時代に受けた教育内容、身についた能力、本学のイメージ等に関するアンケートを実施しました。これらの結果を分析するとともに、導き出された課題を整理していききたいと思います。

■4年間で身についた力は「忍耐力」・「コミュニケーション能力」

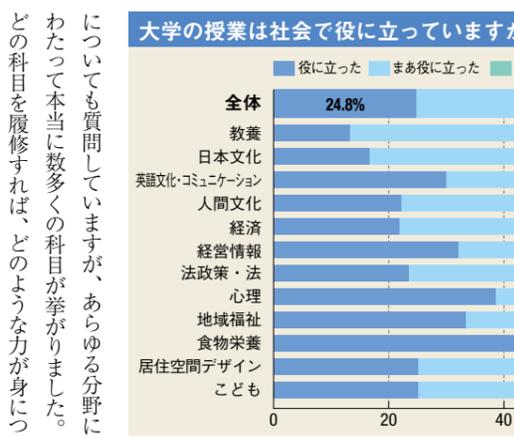
アンケートの最初の質問「4年間で身についた力」について、自由回答を分類したところ、努力や我慢、継続といった「忍耐」に関する力が身についたと回答した方が最も多く、36・6%を占めました。このほか、コミュニケーション・人間関係(24・



3%)、行動(23・8%)といったものが多く挙げられました。これと逆の質問「4年間で身につけておけばよかった力」についても、この3項目が高い値を示しましたが、このほか、グローバル(19・8%)、専門知識(17・8%)、一般知識(17・8%)について比較的高い結果が出ました。大学全体の満足度については、平均は74・2点(100点満点)な



ら、点数の分布は80〜89点の範囲に最も多く集中しています。この結果について、岩井洋学長は「現在、本学では実社会に根ざし、実社会から学び、実社会と向き合う『実学の帝塚山大学』の実現に注力しています。『実学』を体現するために積極的に展開している『プロジェクト型学習』では「行動する力」、「協働する力」、「自己を表現する力」を養うことができます。今回、卒業生が身につけておけばよかったと回答した力もこの『実学』では包含しており、卒業してからの実社会でも必ず求められる力と言えます」とコメントしています。



「大学の授業が社会で役に立っているか」の質問では、「役に立った」「まあ役に立った」を合わせて70・1%が好意的な回答をしました。学科ごとにもみると、これも学科、地域福祉学科、心理学科、食物栄養学科の卒業生について、特に役に立ったととらえています。これについて、蓮花二己副学長(教学担当)は「所属学科によって傾向に違いがみられますが、卒業後の進路とかなり密接な関係があるためでしょう。アンケートでは印象に残った授業科目

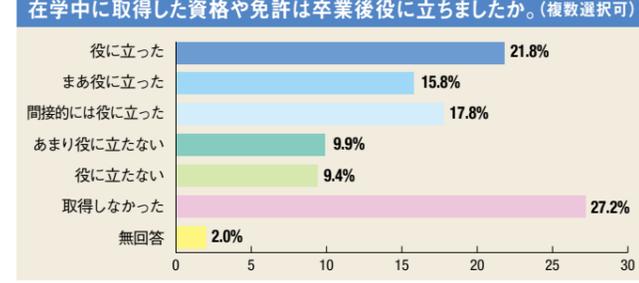
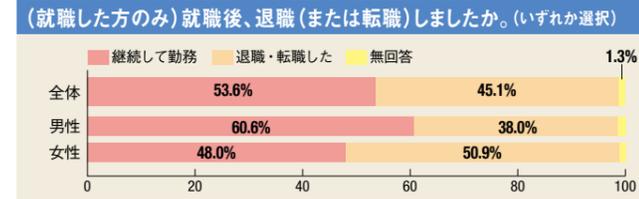
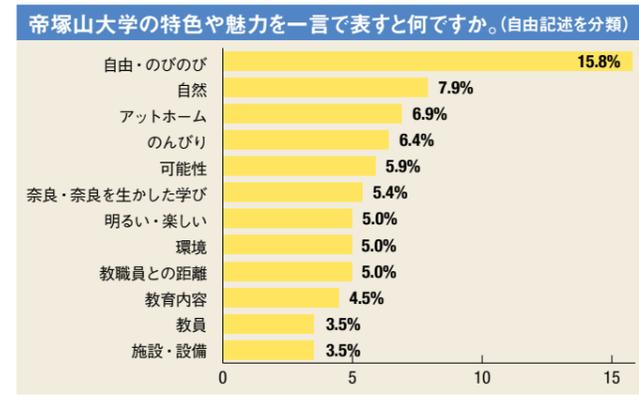
「自由・のびのびとした帝塚山大学」について、自由記述を分類したところ、「自由・のびのび」との回答が15・8%。このあと、「自然」、「アットホーム」、「のんびり」等の語が

続きました。「本学を周囲に勧めたいか」については、「強く思う」「思う」の合計が7割弱でした。所属学科別で見ると、経営情報学科(現経営学科)が8割を超え、卒業時期ごとでは、卒業時期を遡るほど「勧めたい」と回答する層が多くなりました。これについて、向井篤弘副学長(人試担当)は「伝統的な帝塚山大学らしさをイメージする語句が多くを占め、当然これも大事に守る必要があります。一方、動きのある大学であることも社会に発信していかなければなりません。進学先の選択においてイメージは非常に重要であり、本学を勧めたい理由、そうでない理由を様々な角度から確かめる必要があります」とコメントしています。

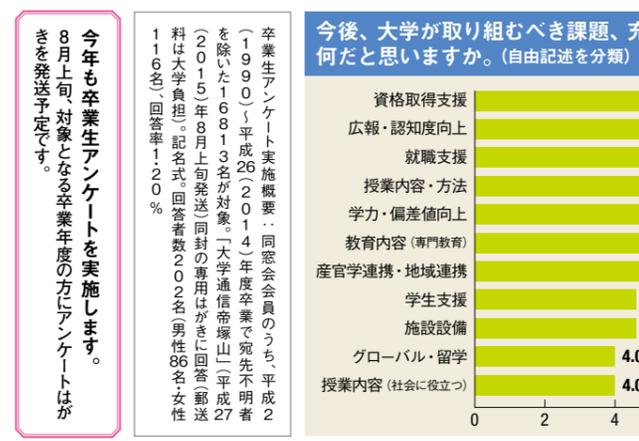
就職について、「希望どおりに就職できた」と答えた方は81・0%で、学科ごとには居住空間デザイン学科、経営情報学科(現経営学科)で高い値となっていますが、卒業時期で見ると、若年層であるほど、「満足」と回答した方が減少傾向にあります。就職した卒業生のうち、退職(転職)経験のある方は45・1%でした。卒業後8年以上経過した層に限って言えば、最初の会社を4〜5年で離れていることが分かりました。退職理由として、「他業種への興味」、「結婚」のほか、「ミスマッチ」を挙げる方が多くいました。また、資格や免許に関する質問については、「在学中に取得した資格や免許が役に立った」と答えた方は「まあ役に立った」「間接的には役に立った」と合わせて55・4%。特にこれも学科、居住空間デザ

イン学科、食物栄養学科で高い値を得ました。一方、資格そのものを取得しなかったと答えた卒業生も27・2%いました。これについて、都留進副学長(学生支援担当)からは「進路選択の満足度は卒業時期の景気など社会情勢の影響が大きいくところもあるでしょう。本学としては単なる就職活動の支援だけでなく、職業観・就労意識の形成や向上に資する取組も重要であると認識しています。また、資格取得については昨年度入学生から、最大5講座まで定額の受講料で受けられる支援制度を導入するなど、学生のバックアップを始めており、新入生の2人に1人が受講しています」とのコメントがありました。

今回抽出されたテーマや意見を卒業生の総意としてとらえるには十分ではないこともひとつの課題といえます。アンケート実施方法の見直しも当然ながら、卒業生の帰属意識を高める方策の検討も必要であると考えています。最後にりましたが、貴重なご意見をお寄せいただいた卒業生の皆様、アンケート実施にご協力くださった同窓会の皆様、本当にありがとうございます。心から御礼申し上げます。



最後に「大学が取り組むべき課題や充実させるべき点」を尋ね、自由記述を分類したところ、「資格取得支援」が最も高く11・4%にのびました。続いて、「広報・認知度向上」(8・6%)、「就職支援」(8・6%)、「授業内容・方法」(6・9%)が挙がり、「教育内容」(6・3%)にも多くの意見が寄せられました。これについて、多賀久彦大学事務局次長は「就職支援、資格取得支援は保護者にとって最大の関心事であり、本学では適宜、講演会や懇談会等の開催により、個別相談や情報提供に努めています。また、大学の存在意義を明らかにするためにも幅広いステークホルダーへの情報発信、地域社会への貢献はますます重要であると認識しています」とコメントしています。



今年も卒業生アンケートを実施します。8月上旬、対象となる卒業年度の方にアンケートがきを発送予定です。

卒業生アンケート実施概要…同窓会会員のうち、平成2(1990)〜平成20(2014)年度卒業で宛先不明者を除いた16813名を対象、「大学通信(帝塚山)」平成27(2015)年8月上旬発送同封の専用はがきに回答郵送料は大学負担。記名式:回答者数202名(男性86名、女性116名)、回答率120%。



河村 卓さん

人文科学部 日本文化学科(現:文学部 日本文化学科)2010年3月卒業
人文科学研究科 日本伝統文化専攻 博士前期課程 2014年3月31日修了
八尾市教育委員会 教育総務部 文化財課 勤務

現在の仕事について教えてください。
課の広報を担当しており、ホームページで文化財の情報発信を行っています。現在、歴史散策マップを製作中で、八尾の遺跡や歴史にあまり詳しくない人でも楽しんで頂けるマップを目指しています。その他、市民ボランティアと一緒に古墳の清掃活動も行って

最後に就職活動に臨む後輩たちへのメッセージを。
採用試験について「まずは受ける

大学時代の思い出 ~仲間~

学部生の頃は美術サークルに所属し、土日は奈良や京都の美術館を訪れていました。大学祭では、屋台でたこせんべいを販売し、屋台の様子が地方紙の1ページに載ったことが印象的でした。

ゼミナールでは、森郁夫先生のもとで考古学を学びました。発掘調査のアルバイトを紹介して下さったのも先生で、学芸員を目指す私の出発点といえます。



竹林寺の調査



奈良県の発掘調査現場にて



韓国にて



発掘調査の現場を視察する河村さん

卒業生紹介

Introduce graduate

入職を決意されたきっかけは?

学芸員に興味を持ったのは、大学4年生の頃に参加した発掘調査のアルバイトがきっかけです。古墳の調査で、地面の下から見つかる埴輪にとっても感動したことを覚えています。発掘調査を通して歴史を明らかにし、それを多くの人に伝える学芸員の仕事に魅力を感じるようになりました。学芸員として必要な能力を養うため

に大学院に進学し、清水昭博先生指導のもと、研究発表や市民大学講座で講演させて頂きました。そのような経験から、堅いイメージのある「考古学」をわかりやすく人に伝える能力が身につきました。大学院在籍中に全国各地の採用試験を受験しましたが、続けていく中で、出身の大阪で働きたい気持ちが強くなり、八尾市を受験することにしました。

現在の仕事について教えてください。

課の広報を担当しており、ホームページで文化財の情報発信を行っています。現在、歴史散策マップを製作中で、八尾の遺跡や歴史にあまり詳しくない人でも楽しんで頂けるマップを目指しています。その他、市民ボランティアと一緒に古墳の清掃活動も行って

印象に残るエピソードは?

窓口で、「市内の遺跡を巡りたいので、おすすめて教えてください。」と尋ねられたことがありました。その方に、以前、自転車ですらったことのあるルートを紹介しました。後日、その方が感想を伝えるに「河村さんのおすすめて良かったです。」ととても喜んでくれました。これからは身近な情報を発信し、八尾市内に残る文化財の素晴らしさを多くの人に感じて頂きたいと思っています。

お仕事をやる上で、工夫していることはありますか?

市民から、遺跡や土器に関する質問を受けることがあります。常に正確な情報を伝えられるように、最新研究や文化財情報をチェックし、さらに自分の意見を言えるようにしています。

今後の目標とされていることは?

専門的な言葉や表現をなくした子どもから大人まで誰にでも興味を持って頂ける文化財図書を作ることが私の目標です。まずは、歴史散策マップを発行したいです。市民には、マップを手に八尾のまちを歩いてもらい、いつもとは違った角度から八尾の魅力を感じてもらいたいです。

特集 Special Feature 2

大学生の連携による食育活動の取組

食物栄養学科ヘルスチーム菜良・農林水産大臣表彰受賞



「ヘルスチーム菜良」は奈良県と県内の管理栄養士養成施設(畿央大学・近畿大学・帝塚山大学・奈良女子大学)が連携したサークルで、同世代や地域住民の食生活・健康づくりを応援することを目的に平成21年10月に結成されました。現在は4大学連合の「ヘルスチーム菜良協議会」(事務局・帝塚山大学)を設置し、大学ごとの活動だけでなく4大学協働で様々な食育活動に取り組んでいます。平成28年6月11日、第11回食育推進全国大会inふくしまにおいて、ヘルスチーム菜良協議会が農林水産大臣から「食育推進ボランティア表彰」を受けました。この表彰は若い世代を対象とした望ましい食習慣の普及啓発等の食育の推進を図ることを目

的に実施されており、今回は58件の推薦から10件が表彰されました。管理栄養士養成課程で学ぶ知識や技能を活かして、自治体や各種団体・企業等と連携し、同世代や子どもたちに対する食育活動などを行ってきたこと、また、大学ごとに特色を生かした活動を行うとともに、協議会を通じてそれぞれの大学での活動の報告発表や意見交換、協働でのイベント参加など、より良い活動ができるように日々お互いに高め合ってきたことが評価されました。表彰式後に行われたシンポジウムでは、表彰事例の中から3事例の発表があり、食物栄養学科3年真幡隆明さんが全国大会という大きな舞台の上で緊張した面持ちで発表を行いました。

これまでの活動の1つとして、奈良県の平成26年度「県内大学生が創る奈良の未来事業」の公募で優秀賞に選ばれた「無病促菜で元気100%事業」があります。この事業は、若い世代への健康意識の啓発や野菜を摂りやすい環境づくりをすすめる、1日の野菜摂取量350gをめざしてヘルスチーム菜良のメンバーが提案しました。第1弾として「若い世代にも

気軽に野菜を摂ってもらうとともに、奈良の野菜の魅力や生産者の思いを伝える」ことを目的として、学生たちのメニュー提案によるランチボックスの開発・販売を行いました。第2弾では、若い世代に対して「自分の食事に関心を持つこと、食を選ぶことの大切さを伝える」ことを目的として高校生への「出張課外授業」を実施しました。現在は、帝塚山中学校との協力事業にも取り組んでいます。これは、中学校の食堂に自分たちの提案したメニューを取り入れたいという生徒会からの要望を受け、その実現に向けてレシポの調整などに協力しています。昨年度から始めたこの取組は第2弾の準備中で、中学生と学生たちが考えたメニューは9月頃に食堂で販売予定です。

1 食育推進ボランティア表彰の様子 2 出張課外授業の様子
3 中学校生徒会での打合せにて 4 大学交流会の様子



06 文学部 英語コミュニケーション学科
The last of the Department of English Communication students will graduate this academic year

"The Last of the Mohicans" is the novel we are studying in American Literature A. James Fenimore Cooper wrote the book. We are reading different versions and watching the 1992 movie (all shown in the picture).

The story is about the end of one group of American Indians: the Mohicans. In the book, all have died except two Mohicans since the British and other Europeans came to America from 1616. At the end of the book, there is only one Mohican left.

In the "Last of the Department of English Communication," the 15 students in the class are studying American literature, culture, and history. We have begun with the time before the United States of America was born. We will continue to the 1920s.

英語コミュニケーション学科最終年度の学生の様子

「American Literature A (担当: R.A. ダンハム教授) では、ジェイムズ・フェニモア・クーパー著の「モヒカン族の最後」を講読しています。授業では、本だけではなく学生が興味をもって学習できるように映画も活用しています。文学を通して、アメリカの歴史や文化の変遷をたどるクラスで、現在 15 名の学生が履修しています。アメリカ文学を皆で味わいながら、その楽しさと共感の輪を広げています。

07 現代生活学部 こども学科
帝塚山ロボット教室に参画

帝塚山ロボット教室は、帝塚山中学校・高等学校の理科部ロボット班の生徒たちが、近隣の小学5・6年生を対象に開いているイベントで、今年で3回目になります。こども学科の学生(有志)は、顧問の先生の指導の下、この運営に参画しています。応募用のチラシを作り、小学校に配布依頼に行ったり、説明用の資料を作り、県庁の記者クラブに広報に行ったり、応募者多数の場合の抽選をしたりと、大活躍。まさに影の立役者です。写真は、帝塚山ロボット教室の一場面。進行役もさせていただきます。



08 文学部 文化創造学科
茶摘み体験交流会(宇治田原町)に参加

5月8日(日)、「日本緑茶の発祥地」とされる京都府宇治田原町にて茶摘み体験交流会(21お茶のふるさと塾主催)が開催され、本学科の教員3名と学生4名が映像コンテンツ作成のために参加しました。被写体となった女子学生3名が菫袴(あかねだすき)に手甲脚絆、手ぬぐいをかぶって、一番葉を摘みました。体験の様子は、牟田口教授と牟田口ゼミの学生たちによって映像化され、学科のFacebook(<https://www.facebook.com/tezunkasouzou/>)に掲載されています。



09 現代生活学部 食物栄養学科
高校生を対象とした健康教育講演会を実施

4月25日(月)に、食物栄養学科の木村祐子准教授が、京都府立南陽高等学校の3年生(355名)を対象とした健康教育講演会で、「3年生応援食～バランスの良い食事～をテーマに講演をしました。高校生たちは、大変興味深く前向きな受講態度で臨まれ、木村先生も楽しく講演できたとのこと。今回の講演が、これから始まる受験に向けたより良い食生活と生活リズムの参考になることを期待します。



10 現代生活学部 居住空間デザイン学科
学生が手掛けたカフェ空間の内装デザインが完成!

居住空間デザイン学科の学生による「TEZUcafe(テヅカフェ)空間デザインプロジェクト(指導教員:小菅瑠香准教授・矢部仁見准教授)」の内装が、ついに完成し、5月8日、五條市の道の駅にてグランドオープン式典がありました。TEZUcafeは本学食物栄養学科が五條市の道の駅にて自ら運営する学生レストランです。隣接する「星のくに」にちなみ、五條市特産の箸で装飾した紺色の壁と、降り注ぐ星のような天井モビールで夜空を表現し、一体感のあるお洒落な空間が出来上がりました。



01 心理学部 心理学科
新入生合宿オリエンテーションで軽快なスタート

今年、心理学部心理学科では、125名の新入生を迎えることができました。入学直後の緊張を和らげるため、心理学科では毎年の恒例として新入生合宿オリエンテーションを開催しています。合宿では、心理学の要素を取り入れたゲームやアクティビティを行い、同級生や先輩、先生と交流をとり、新入生の皆さんが抱える不安をしっかりと解消していきます。軽快なスタートを切って、4年間の大学生活を満喫してもらいたいと思います。

02 経済学部 経済学科
財務省近畿財務局のご協力によるリレー講義「特殊講義(金融・財政の現状)」が11年目に

経済学部の特色ある科目、特殊講義(金融・財政の現状)が今年で11年目を迎えました。この授業は、奈良財務事務所をはじめ、財務省近畿財務局の全面的なご協力をいただき、金融政策・財政政策の現場におられる方々にリレー形式で講義をいただくというものです。経済学部の専門科目の一つとして、日本の財政の現状と課題、奈良をはじめ近畿管内の経済情勢、金融経済の知識、金融商品の仕組みなど、金融や財政に関する多様な内容が予定されており、学生も毎週真剣に受講しています。



03 経営学部 経営学科
3年生全員を対象としたキャリア講習会を開催しました!

経営学部では、最近の就活スケジュールの早期化の流れを受けて、学内外の関係機関と連携した就職活動のサポートにいっそう力を入れていきます。6月7日(火)には、3年次の全学生を対象とした第1回目の合同ゼミとして、株式会社マイナビから東海裕様を講師にお招きし、キャリア講習会を開催しました。今回の講習会は、就職活動の具体的なスケジュールや活動内容について学ぶことが目的です。学生たちは、来年3月からはじまる就職活動にむけて真剣にメモを取りながら聴講していました。このような就職活動のサポートを目的とした合同ゼミやキャリア講習会は、今後も継続して定期的開催される予定です。



04 文学部 日本文化学科
学生による飛鳥遺跡探訪ガイド

考古学の清水昭博ゼミでは、遺跡探訪のガイドに取り組んでいます。5月21日(土)には、1年生の「学外実習」として飛鳥遺跡探訪ツアーを企画しました。このツアーには一般の考古学ファンや他大学の学生も参加しました。考古学ゼミの学生たちは、飛鳥の歴史サークル両機会の方々と一緒に調査を重ね、下見や原稿の検討など、入念な準備をして当日に臨みました。学生らしいガイドは参加者から好評をいただきました。



05 法学部 法学科
平成27年度の「特殊講義(防犯ボランティア講座)」が修了式を迎えました

法学部では、平成26年度より、奈良県警察のご協力の下、「特殊講義(防犯ボランティア講座)」を開講しています。平成27年度は、犯罪や非行の現状、防犯の手法を学びながら、学生ボランティア活動の意義を理解することを目的として、学生ボランティア団体との会合やボランティア実習に参加するなど、様々な活動を行いました。修了式では奈良県警察生活安全部犯罪抑止対策室長よりご挨拶いただき、受講生に1人ずつ記念品が贈呈されました。



「奈良学」という言葉は、本学短期大学名誉教授の故・青山茂氏が提唱したものである。それによると、奈良学とは奈良を対象とした単なる「郷土史」や従来の「日本古代史」ではなく、巨視的な「鳥の目」で全体を俯瞰し、日本の歴史文化における奈良の位置づけを考えるとともに、微視的な「蟻の目」で人々の生活を洞察し、奈良を通して日本全体の歴史文化を考察するというものである。青山氏は、学際的な視点による日本文化史の上に、奈良を対象とした独自の学問分野

「奈良学」が成立すると考えていた。本学では、青山氏の志を継ぐとともに、それをさらに発展させた。6学部をもつ本学は、学際的な視点を大切にする奈良学に貢献できると考える。考古学、歴史学、民俗学はいずれにおよばず、経済学、経営学、建築学から食物学まで動員して、奈良を総合的に研究したい。また、青山氏は新聞記者としての経験から文化史の「レポーター」であらうとした。本学も、奈良の素晴らしさを発信する「レポーター」の役割を果たしたい。

「奈良学」への招待

「奈良学」事始め



建築やインテリア・デザインを学ぶ学生にとってこの椅子は、デザイン史上の作品というだけでなく、家具模型や3Dコンピュータ操作の課題として馴染み深いものである。デザインしたのは、オランダの建築家ヘリット・トーマス・リートフェルトである。彼は、20世紀のヨーロッパに起こったアートやデザインの新しい時代意識としての「普遍性」の表現であるとされる。この椅子が作られて約100年経った今でも色褪せることなくデザインを学ぶ学生の課題となっている所以は、まさにこの椅子が目指したその普遍性にあると言えるかもしれない。

帝塚山大学所蔵 Chair Gallery 紹介

レッドアンドブルー (Red And Blue) 1918年

現代生活学部居住空間デザイン学科准教授 矢部 仁見

と青のコンポジション」の表象と思想をリートフェルトが立体に展開したのがこの椅子とされる。単純な形態と、名前にもなっていない赤と青、そして黄色という三原色の採用は、このグループの理念であった新しい時代意識としての「普遍性」の表現であるとされる。この椅子が作られて約100年経った今でも色褪せることなくデザインを学ぶ学生の課題となっている所以は、まさにこの椅子が目指したその普遍性にあると言えるかもしれない。



奈良公園より若草山を望む

帝塚山大学学長

岩井 洋

本学教員の執筆図書紹介 Introducing Teacher Research Books



穂原 寿識 (経営学部 講師) 分担執筆

先を読むマーケティング
新しいビジネスモデルの構築に向けて
同文館出版 ¥3,024



岩井 洋 (帝塚山大学 学長) 分担執筆

よくわかる宗教学
ミネルヴァ書房 ¥2,592



王 冬蘭 (経済学部 教授) 訳

風姿花伝
吉林出版集团有限责任公司 ¥58.00 元



清水 昭博 (文学部 教授) 分担執筆

帰ってきた瓦埴
一井内コレクション
韓国 国外所在文化財団 ₩ 30,000



花田 卓司 (文学部 講師) 分担執筆

公文書でたどる
近代滋賀のあゆみ
サンライズ出版 ¥1,296



花田 卓司 (文学部 講師) 分担執筆

京の乱
白川書院 ¥771



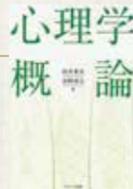
福本 葵 (法学部 教授) 分担執筆

アメリカの証券市場
日本証券経済研究所 ¥2,484



心理学部教員らによる
共同執筆

心理学概論
ナカニシヤ出版 ¥3,672



(著者名50音順)



1 外部講師による事前研修会の様子
2 受賞時の記念撮影
3 奈良県教育委員会のスタッフ (右は本学修了生の酒井希恵さん)

11 心理科学研究科 心理学専攻 「不登校の子どもたちに大学生ができること～大学間の垣根を越えて～」着々と進行中!

昨年の7月に開催された「県内大学生が創る奈良の未来事業」公開コンペにて、本学大学院心理科学研究科のグループが「不登校の子どもたちに大学生ができること～大学間の垣根を越えて～」というプロジェクトで優秀賞を受賞しました。このグループは、中地展生准教授のゼミ生が中心となり、学生ボランティアの力を効果的に活用して不登校の減少や予防を目指すというものです。今年の4月から、プロジェクトリーダーであった酒井希恵さん(本学心理科学研究科修了)が奈良県教育委員会に所属し、各小学校の希望と大学生ボランティア派遣の調整を行う重要な役割を担っています。5月には、外部講師による大学生ボランティアに対する事前研修会を実施し、学校現場で活動する際に必要なマナーや注意事項などをしっかりと学んでいただきました。この研修会を経て、いよいよ奈良県内の各小学校へ大学生ボランティア派遣が開始されることになります。

12 人文科学研究科 日本伝統文化専攻 現地を訪れて学ぶ

授業(「日本伝統文化特論」)の一環として、1581年のもので、現在確認されている日本最古のキリシタン墓碑の出土地を訪れました。これは田原城主の田原礼幡(レイマン)のもので、礼幡は宣教師ルイス・フロイスの書簡にも登場する人物です。日本伝統文化専攻は歴史・考古・民俗・美術といった手法で日本の伝統文化を研究する専攻であり、「日本伝統文化特論」は各分野の研究法、最近の研究動向などをそれぞれの教員から学ぶ学際的な科目です。各分野の特色にふれるなかで、このように現地を訪れ、そこから学ぶことも多くあり、大学院生が学習や研究を進めていく際の大きな刺激となっているようです。

大学院生の浅野祐実さんと稲田貴仁さん



13 経済学研究科 経済学専攻 中国返還前後の香港の経済状況や市民心理状態の変化を調べる!

博士前期課程2年の張雨熙(チョウ ウキ)さんは、中嶋航一教授指導のもと、中国返還前後の香港の経済状況や市民心理状態の変化について、香港の国民的漫画・アニメである「マクダールとマクマグ」を使用したり、アンケート調査を行ったりすることで分析しようとしています。この漫画は始まった当初のストーリー設定と、中国返還後の内容が変わるなどしており、香港の人々の経済心理学的な分析につなげたいということです。張さんは「難しいけど最後まで頑張りたい」と意気込みを語ってくれました。

中嶋教授と、使用するアニメの日本語版DVDを手にする張さん



後援会だよりー在校生保護者の皆様へー

News from the support group



大学後援会総会・大学ファミリークラブ総会・学外見学会を開催しました

5月28日、東生駒キャンパス6号館において、平成28年度帝塚山大学後援会総会が開催されました。大学後援会は、学術の研究、学生教育の援助、また会員、教職員、学生相互の親睦を図ることを目的とした組織であり、在学生の保護者の皆様で構成いただいております。当日は約120名の方が出席され、役員人事や予算等の審議が行われました。

また、卒業生の保護者の皆様で組織していただいている、帝塚山大学ファミリークラブの総会も同日に開催されました。

午後からはバスに分乗して、ユネスコの世界遺産に登録されている法隆寺を訪れました。ファミリークラブの皆様も合流し160名を超える方々がグループに分かれ、文学部日本文化学科の教員らによる解説で多数の文化財を巡り、充実した一日を過ごしていただきました。



保護者の皆様から以下のようなご意見・ご感想をいただきました (参加者アンケートより)

- ・大学後援会がどのように運営されているのかが良く分かりました。
- ・奈良県の世界遺産などを巡る学外見学会を毎年楽しみにしています。
- ・子どもから大学生活や授業内容、部活等の話を聞くことが難しくなってきたので、昼食会やバスでは学年、学部が異なる保護者の方々と情報交換ができ、交流が深められるので楽しみにしています。

「保護者教育懇談会」を開催いたします

本会は、帝塚山大学後援会の協力のもと、学生の修学支援をはじめ、就職支援、生活支援等について、保護者と教職員による面談等を行うことにより、大学生生活全般について、理解を深めていただくことを目的として開催しています。

10月22日(土)

【会場】奈良・東生駒キャンパス

【対象】文・人文学部、経済学部、経営・経営情報学部、法学部に所属する学生の保護者

10月23日(日)

【会場】奈良・学園前キャンパス

【対象】心理・心理福祉学部、現代生活学部所属する学生の保護者

内容・タイムスケジュール

- 9:30～ 受付開始
- 10:00～10:10 開会・学長挨拶
- 10:10～11:30 全体会(就職活動に関する特別講演会を予定)
- 11:40～12:50 学科別説明会および情報交換会
- 13:00～14:00 昼食(立食形式/個別相談もできます)
- 14:00～14:30 キャンパス見学ツアー
- 14:30 終了予定

※両日とも同じスケジュールで実施します。

※お申込みにつきましては、大学より7月下旬にお送りしておりますチラシをご覧ください。



「3年生保護者対象就職説明会」の開催を予定しております

12月3日(土) 10:00～11:50

【会場】奈良・東生駒キャンパス

【内容】就職活動におけるキャリアセンター活用法や現4年生による就職活動体験パネルディスカッション「就職活動を振り返って」を開催する予定です。 ※詳細は、後期開講後に改めてご案内させていただきます。

就職支援の取組み

Employment support



キャリアセンターより

本学の就職支援については、学生が主役であることは当然ですが、保護者の方との関係も重要視し、「学生・保護者の方・大学」という三位一体の支援を展開しています。

保護者の方にも学生の「就活」を理解していただくために、毎年4月と12月に3年次生の保護者を対象として「保護者対象就職説明会」を実施しており、毎回、多くの保護者の方に参加していただいております。

直近の就職支援行事を紹介いたしますので、保護者の方におかれましてはご理解いただき、学生に積極的にキャリアセンターの活用をお薦めいただければと思います。

【3年次生行事について】

実施時期	行事
7月初旬～	初回面談
秋頃	個別面談(2回目～)
2月初旬	「学外合同企業説明会の歩き方」講座
2月下旬	学内業界研究会
3月	【学外】企業説明会 開始
月1回	目的別ガイダンス

【行事についての個別説明】

【初回面談：全員必須】

履歴書作成の第一歩となるもので、今までどのようなことに取り組んできたかについて面談しながら聞いていきます。

【「学外合同企業説明会の歩き方」講座】

リクナビ・マイナビなどの情報媒体会社が実施する合同企業説明会を前にその歩き方を説明します。

【学内業界研究会】

学内に本学学生の採用意欲が高い、大手・中堅問わず優良企業が集まり、その業界の説明をしてくれます。

【目的別ガイダンス】

おおむね月1回目的別(業種理解・職種理解等)のガイダンスを実施しています。

就職活動には、自己分析・業界研究・企業研究が必要です。就職活動を円滑に進めることができるかできないかは、3年次生の間にどれだけの準備ができるかにかかっています。本学では、学生が主役ですが、キャリアセンターと保護者も連携して就職活動に望むことを推奨しています。

【4年次生行事について】

実施時期	行事
9月初旬～中旬	学内合同企業説明会
3月初旬	学内合同企業説明会
【4月以降随時】	個別企業選考会

【行事についての個別説明】

【学内合同企業説明会】

学内で本学学生の採用意欲が高い、大手・中堅問わず優良企業が集まり、会社の説明をしてくれます。説明会・採用の流れに乗ることができます。

【学内個別企業選考会】

学内で個別企業が選考会を行います。毎年かなりの数が内定に結びついています。

【夏以降の4年次生の就職活動について】

毎年夏以降も求人がたくさん来ており、多くの学生が「内定」を獲得しています。夏休みもキャリアセンターは開室していますので、利用してください。

本学の学生に来ていたる求人については、「求人NAVI」で見ることができます。春先の状況では昨年以上の求人が来るような雰囲気です。

http://www.tezukayama-u.ac.jp/career/employment/navi_system.html

パスワードは学生に配付しています。

【主な就職先】 ※日本標準産業分類による

【建設】	【卸売】	【金融】	【公務】
日成ビルド工業(株)	(株)ゴールドフラッグ	日本郵便(株)	奈良市役所
パナソニックホームエンジニアリング(株)	旭食品(株)	(株)りそな銀行	高知県栄養教諭
大和ハウス工業(株)	尾家産業(株)	(株)南都銀行	東京都小学校教員
【製造】	【小売】	(株)紀陽銀行	横浜市小学校教員
シノブフーズ(株)	(株)オンワード樺山	(株)第三銀行	京都府小学校教員
千寿庵吉宗奈良本店(株)	(株)サマンサタバサジャパンリミテッド	京都中央信用金庫	大阪府小学校教員
【運輸】	【宿泊】	大阪シティ信用金庫	三豊市(幼稚園教諭・保育士)
ANAエアポートサービス(株)	(株)近鉄・都ホテルズ	いちよし証券(株)	東大阪市保育士
東海旅客鉄道(株)	【サービス】	岩井コスモ証券(株)	尼崎市保育士
四国旅客鉄道(株)	総合警備保障(株)	明治安田生命保険(相)	橿原市保育士
	吉本興業(株)		警視庁
	ワタキューセイモア(株)		大阪府警察
	(株)日清医療食品		奈良県警察

平成27年度の就職実績は次のとおりです。【就職内定率】98.7% 【求人件数】25,210件

「CAREER NAVI BOOK」

就職活動を理解するための冊子として、作成しました。キャリアセンターにて配付しておりますので、ご利用ください。



【お問合せ先】

奈良・東生駒キャンパス
Tel 0742-48-9688

奈良・学園前キャンパス
Tel 0742-41-4751

Pick up!
レスリング部

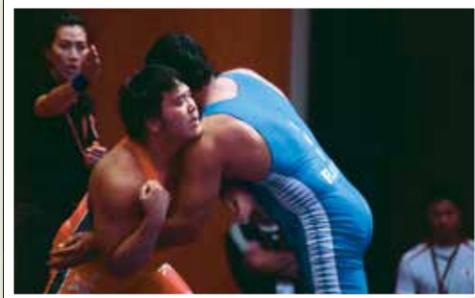
2016年アジア・ジュニア選手権大会に竹内選手が日本代表選手として出場!

6月2日～6月5日、フィリピン・マニラで開催されたアジア・ジュニア選手権に、男子グレコローマンスタイル 96kg 級で竹内 亮巨選手(経済学部3年)が日本代表選手として出場しました。2回戦から出場した竹内選手は、インド代表選手と対戦し、激闘を繰り広げました。僅かなポイント差で判定負けしたものの、対戦したインド代表の選手はその後決勝に進出。竹内選手の実力が世界に通用することを証明した一戦となりました。

帰国後、竹内選手は2回戦で勝機があった試合を振り返り、「あの試合は力の差を感じず経験を積み勝てる感覚だった」と語り、次の海外大会にて再び代表選出されるよう、今期の総ての試合で入賞を誓いました。

【96kg級】竹内亮巨(帝塚山大)9選手出場

敗復戦 ● [フォール、0-4] (キルギス)
2回戦 ● [2-4] (インド) 1回戦 BYE
竹内選手の所属するレスリング部の活躍に引き続きご注目ください!



奈良・東生駒 CAMPUS

スマート

熊本地震被災地支援の募金活動を実施しました

被災地支援・地域活性化ボランティアサークルの「スマート」が4月21日から23日の3日間、帝塚山大学構内及び近鉄学園前駅前で熊本地震の被災地へ向けた募金活動を行いました。熊本地震が発生し、真っ先に「募金活動をしたいです!」と大学の事務室へ強い意志をもって現れたスマートのメンバー。全員が「被災地の方のために、今出来る事を全力でやろう。」という気持ちで、昼休みや講義終了後の空き時間を利用して、真剣に活動に取り組みました。その結果、3日間で127,758円もの募金が集まりました。活動に参加したスマートのメンバーは、「たくさんの方々の温かい気持ちを感じることができ、とても嬉しく思います。」と募金に参加して下さった皆様への感謝の気持ちを述べ、「被災された熊本の方々が少しでも早く元気になれるよう、自分達にできる事を今後も一生懸命頑張ります。」と活動継続に向けて一致団結しています。



奈良・学園前 CAMPUS

JOKER

試合経験を重ねて成長を続けています

バスケットボールサークル JOKER は、練習はもちろん、数多くの試合経験を重ねたいという男子学生により起ち上げられました。現在では男性36名、女性26名、マネージャー2名という多くの学生が所属するサークルへと成長しました。

5月22日、堺市で行われた3on3の大会では、16位中3位という好成績を収めました。普段とは異なる競技形式でしたが、参加したメンバーは「次回に向けてチーム編成を考え、優勝を狙いたい」と意欲的に新たな目標を語ってくれました。7月には奈良・東生駒キャンパス所属の「ぬっでいず」との試合、秋には別の大会を控えている JOKER の今後の活躍にご注目ください!!



奈良・学園前 CAMPUS

天文サークル

空を見上げて非日常を体感しています!

5月27日、奈良・学園前キャンパスにて、天文サークルのメンバー17名が星の観測を行いました。集合から観測までの待ち時間は、メンバー同士でにぎやかに語り合ったり、写真撮影をしたり、親睦を深めるのにとってもよい時間になります。日頃は遅くまで授業やアルバイトがあり、ゆっくりと星を眺める機会が少ない学生達。スマホのように下を向いて小さな画面を見続けるのではなく、空を見上げて自然の流れをゆったり感じながら、いつもと違う時間を過ごすことができました。今後はプラネタリウムや、もっと星がきれいに見える所に訪れようと、様々な企画を検討している天文サークルのメンバー。日常を離れて経験する今後の活動報告がとても楽しみです。



奈良・学園前 CAMPUS

Pick up!
大学祭
実行委員会

『虹色祭』に向け着々と準備進行中!

大学祭実行委員会は、その名の通り帝塚山大学の大学祭【虹色祭】を1から自分たちの手で作りあげていくことです。約50名で構成される実行委員は、【虹色祭】以外でも学生全員が楽しむことのできるイベントを年間を通じて企画・運営しており、楽しんで参加する姿を見るたびにやり甲斐を感じています。

今年の【虹色祭】は11月19日(土)・20日(日)の2日間で行います。テーマは『colorFull』-【color】は「個性」【Full】は「いっぱい」で『個性がいっぱい』- イベント、催し物も個性いっぱい、盛り沢山です。昨年度実施していなかった「のど自慢大会」を本年度は実施予定。毎年好評の「アムレスリング」「イケメンコンテスト」「ミスコンテスト」に加え、豪華なアーティストライブやお笑い芸人のトークライブを予定しています。

【虹色祭】の締めくくりとして盛大な花火を打ち上げます。花火の綺麗さと相まって、最後までやり遂げた達成感や喜びはかけがえないものとなります。実行委員はこの【虹色祭】を企画・運営することで成長し後々の自信につながります。

子供から大人まですべての方が楽しめる【虹色祭】を作り上げますので、秋の夜空に輝く花火をひと目見に是非【虹色祭】に参加しませんか?



奈良・東生駒 CAMPUS

女子
ラクロス部

ラクロスは大学から始められる
スポーツNo.1!!

女子ラクロス部では毎年ゴールデンウィーク中、大阪市鶴見緑地球技場において日本ラクロス協会が主催する1年生対象のイベント「フレッシュマンズフェスタ」に参加しています。今年も関西選抜などの強豪の試合を観戦後、選抜の選手たちから技術指導を受け自分たちの力としていきました。又他大学の1年生とも練習が出来ることからコミュニケーションも取れ仲間も増えました!ラクロスは大学から始めるスポーツナンバー1なので初心者もOK!春からラクロスを始めた新入生も力をつけ、秋から始まるリーグ戦に向け奮闘中。皆様の暖かいご声援をお願いいたします!



奈良・東生駒 CAMPUS

演劇部

生まれ変わった演劇部です!!

私たち「演劇部」は20年ほど伝統のあるクラブです。2016年度から劇団名を「劇団プラス」から「劇団透り雨」と改め、新しく生まれ変わりました。夏季公演、大学祭公演、新入生歓迎会公演の年3回公演を目標として活動しています。

演劇と聞くと一般に舞台上に立っている人たちだけの姿を想像されがちですがそれだけではひとつの作品を完成させることはできません。舞台上に立っている人間に光をあて、音を流し輝かせてくれる裏方の人たちのおかげで私たちは舞台において素晴らしい演技を行えています。生まれ変わったその演技を是非見に来てください!



奈良・東生駒 CAMPUS



1 国際学会の発表様子
2 Paris学会の発表様子
3 山本先生誕生日会

心理科学研究科から博士が誕生！山下雅俊さんの帝塚山大学での軌跡

心理学部・博士研究員の山下雅俊さん（日本学術振興会特別研究員ⅠPD）は、1年繰り上げて2年間の飛び級で大学院博士課程を修了し、博士号（心理学）を平成28年度に取得しました。その審査課題である「Tryptophan 感受性疲労認知回路の特定」は不登校児童が「慢性的な睡眠障害を基盤とした精神性疲労の罹患率が4〜8割を占める」という研究報告と「不登校支援活動」から得た知見を基に、睡眠障害により誘発した精神性疲労のモデル動物を作製、そして疲労物質「Tryptophan」を軸にした末梢-中枢連関と心理認知機能との関係性を実験心理学的に解明したものです。

山下さんは、学部から大学院までを本学で学びました。学士課程では、山本隆宣先生のゼミナールに所属し、京都府・奈良市下の小学校や幼稚園でスクールサポート事業に参加しました。4年生では、「睡眠障害型精神性疲労のモデル動物の作製」に成功し、その成果は審査後、「第16回認知神経科学会（産業医科大学）」で発表しました。学士課程を首席で卒業後、本学大学院の博士前期課程に進学しました。

博士前期課程1年生から、山本先生との二人三脚で更に研究を加速させます。「睡眠障害が基盤となる精神性疲労の誘発に必須アミノ酸「Tryptophan」が関与する」という成果を「第17回認知神経科学会（東京大学）」で発表し、若手奨励賞（優秀ポスター賞）を受賞しました。2年生では、国際会議「11th World Congress of Biological Psychiatry (Japan)」で発表しました。また、「平成26年度採用分日本学術振興会特別研究員ⅠDCⅠ」に採用されました。これはiPS細胞作製でノーベル賞受賞・山中伸弥教授の研究室に所属する大学院生も同時期に採用されており、採用率は全国で約20%という厳しい審査の中、山下さんは書類審査のみで上位通過し採用されたのです。



日本心理学会発表の様子

博士後期課程1年生では、「精神性疲労の新疲労仮説を提唱し、国際会議「28th International Congress of Applied Psychology (France)」や「32th International Australasian Winter Conference on Brain Research (New Zealand)」などで発表しました。さらに、19回認知神経科学会では再び、若手奨励賞（ポスター賞）を受賞しました。

博士後期課程2年生では、「精神性疲労の末梢-中枢連関に関する疲労認知回路の特定と心理認知機能の関連性」を解明し、国際会議「33th International Australasian Winter Conference on Brain Research (New Zealand)」などで発表しました。山下さんの英語論文は世界の研究者に引用される他、イギリス国際雑誌「Current Pharmaceutical Design」から論文審査員の打診があり、外国人研究者・医師と山下さんの共同で審査に関する仕事を行いました。

現在、山下さんは心理学部ゼミ生の4年生との研究プロジェクト「スポーツの認知神経科学的基盤に関する心理生理・認知機能の解明」を立ち上げ、その成果をヨーロッパ国際雑誌「Psychology of Sport and Exercise」で発表するべく、執筆中です。また2016年秋より、イギリスのLeicester University (Department of Neuroscience, Psychology and Behavior, Dr. Canales 教授)で過剰「依存症状での病的疲労の誘発」に関する組織化学的実験心理学的解明の研究に取り組み予定です。山下さんはこれまでの学生生活を振り返り、「帝塚山学園を始め、心理学部を中心とした多くの先生方、事務方、心友の皆様のお力添えを頂きまして感謝申し上げます。山本先生からご教授いただいた研究者としての在り方を胸に、今後も研鑽してまいります」と感謝の言葉を述べられました。



経営学部／経営学科

田中研究室



経営学部／経営学科
田中 雅子 教授 MASAKO TANAKA

帝塚山大学教養学部卒業。同志社大学大学院総合政策科学研究科博士後期課程修了。博士（政策科学）。京都大学医学部付属病院教授秘書、羽衣国際大学講師・准教授を経て現職。専門は経営組織論。主な著書に「経営理念浸透のメカニズム」（中央経済社）、「ミッション・マネジメントの理論と実践」（中央経済社）等がある。

田中先生のご専門と近年の研究内容についてお教えください。
この十年来、どうすれば組織に経営理念が浸透するのかを探るため、理念浸透が進んでいると公言されている企業6社の、経営者、役員、管理者、若手社員の方々のインタビュー調査を続けてきました。
調査を進める中で、社員一人一人がいかにすれば理念を理解するのかが見えてきました。特筆すべきは「ひと山乗り越える経験」が重要だということでした。これは先行研究では触れられることのなかった発見事実でした。理念浸透という合唱や壁に文言を貼るなど、方法的なこととを思いつきませんが、そんな小先のこととで理念は浸透しません。本質的な仕事にいかに関わり向かうか、それが鍵となるのです。
この調査結果は、私のゼミ運営に大きく影響を与えました。それはゼミ生に、いかに成長できる場を提供することができるかという考え方を。ゼミナールでは、学生ごとのような取組みを行なっておられますか。
ゼミでは、就職活動を視野に入れ、さまざまな角度から「経験」できる「場」を学生に提供しています。優良中小企業と学生を結びつけ、内定率を高める活動を行っているNPO法人JAEと連携し、社長との会食や、本音トーク会等のプログラムへ、ゼミ生を参加させています。また、インターンシップ派遣先企業で、先方とゼミ生が合意すれば、社長面談のうえ採用に繋げていただく働きかけも行っています。大学生活の早い時期から経営者や企業と接触する機会を設けることで、社会を知り実体験を積んでもらい、それを就職活動の糧にしてほしいと願っています。

また、四天王寺大学と合同ゼミを実施し、テレビ会議や、研究発表大会を通して、「優良企業」について文献研究、調査、分析等を行っています。これも就職活動を視野に入れた取り組みですが、それだけではなく、他大学に切磋琢磨し合える仲間を作ることが、もう一つの狙いでもあります。
今後のご研究の方向性や抱負についてお教えください。
研究の軸足はフィールドにあります。それは現場に必ず答えがあると信じているからです。今までの調査から日本企業における理念浸透を明

The Voice of Seminar Students ゼミ生の声



福島 愛さん (4年)

田中ゼミでは、「ミライ企業プロジェクト」への参加を呼びかけ、先生が経営者や研究者と出会う機会を作ってくださいました。私は、食品の製造・販売会社と出会い、太陽のように明るく前向きな社長に心惹かれ、ゼミインターンシップに参加したいと手を挙げました。今は長期インターンシップとして、週3、4回お世話になっています。失敗を恐れず、たくさんチャレンジしてほしいと、社長を始め社員の方々も後押ししてくださり、大きな仕事を任されることもあります。私はインターンシップ生ですが、社員の一人として働いているという感覚があり、このような大変貴重な体験ができたのは、田中ゼミに入っただけで感謝しています。

らかにすることができたので、今はフィールドを海外に移し、ローマやフランクフルトの現地法人へ調査に向き、外国人スタッフへの理念浸透を検討しています。
私の研究は、現場での発見事実が元になっています。だからこそ、得られた知見は、ビジネスマンの方々に書籍や講演という形でお返ししたい。と同時に、学生には現場を反映した臨場感ある授業を提供したい、その想いを胸にフィールドワークを行っています。
学生たちへメッセージをお願いします。
田中ゼミでは「文遊両道」が合言葉です。授業の節目ごとに学生との交流会を開催しています。それは、オンとオフを使い分け、十分に勉強した後

は、大いに遊ぶ、その遊び心が柔軟な物の考え方や、アイデアの創造、勉強への意欲に「役買」してくれるはずと考えているからです。ゼミで過ごした時間は、卒業してからも思いだされるものです。有益な時間をともに作っていきましょう。



4月

April

▼4月1日

第53回帝塚山大学入学式、第28回帝塚山大学大学院入学式を挙

奈良・学園前キャンパス学園講堂において二部制で行われ、第一部で文学部、経済学部、経営学部、法学部、大学院人文科学研究科、大学院経済学研究科を、第二部で心理学部、現代生活学部、大学院心理科学研究科の入学式を挙行し、新たな帝塚山ファミリーのメンバーを迎えました。



▼4月8日

新入生歓迎会を奈良・東生駒キャンパスで開催

執行委員会が主催する新入生歓迎会が行われ、さまざまなクラブやサークルが新入生勧誘のためのアピールを行いました。会場となった奈良・東生駒キャンパスの体育館は700名を超える新入生でほぼ満員となり、先輩たちのパフォーマンスに歓声を上げていました。



▼4月9日

ミス帝塚山の吉田早希さんが一日警察署長に

奈良県警察「春の全国交通安全運動」キャンペーンにおいて、ミス帝塚山の吉田早希さん（現代生活学部食物栄養学科4年）が奈良西警察署の一日警察署長を委嘱され、行き交うドライバーへ向けて、同乗者の後部座席でのシートベルト着用や交通安全を呼びかけました。



▼4月21日

「球場を満員にするプロジェクト」第1回講義を実施

昨年、大きな話題となった産官学連携「球場を満員にするプロジェクト」の今年度第1回講義が経済学部および経営学部の授業で行われました。オリックス・パフアローズ事業本部長の三上尚弘氏から、集客戦略や野球が持つスポーツビジネスとしての特殊性や専門性を解説いただき、真剣に講義に参加する学生たちの様子が見られました。



5月

May

▼5月10日

第30回管理栄養士国家試験で6年連続、全国平均を上回る合格率を達成

▼5月12日

現役消防官が講義を実施

法学部の講義「消防組織と消防実務」において、生駒市消防本部 坂上消防長による講義を実施しました。消防官志望の学生に対し、消防の組織や活動の実態、仕事に取り組み心構えなど経験をお話していただき、学生たちは熱心に聞き入っていました。



▼5月15日

保護者のためのオープンキャンパス・AO入試説明会を開催

▼5月24日

「コミュニティ・カフェつどい」がオープン!

地域の幅広い年齢層の方々の交流の場として活用していただくため、本学文化創造学科 村田武一郎研究室と西大和ニュータウン・ソーシャルビジネス開発協議会が協力して運営するもので、奈良県北葛城郡河合町のまほろばホール内ラウンジにオープンしました。



▼5月25日

新入留学生歓迎懇親会を実施

平成28年度帝塚山学園特別奨学金受給者の表彰式

▼5月30日～6月3日

禁煙支援・受動喫煙防止啓発キャンペーン2016を実施

奈良・東生駒キャンパスおよび奈良・学園前キャンパスにおいて、ボランティア学生がスタッフTシャツを着て、「せんたくん」とともにキャンペーン活動を行いました。4月から全面禁煙となった両キャンパスで、喫煙・非喫煙を問わず多数の学生がクイズ等に参加する活気に満ちたイベントとなりました。



▼6月12日

オープンキャンパスを開催

奈良・学園前キャンパスにおいて開催され、小雨の降る天候にも関わらず、500名を超える多数の来場をいただきました。さまざまなプログラムが行われ、参加された方にとって帝塚山大学をリアルに体験できる1日となりました。



7月

July

▼7月1日

滋京奈地域人材育成協議会を設立

地域に活躍する人材育成を通じて地方創生に寄与する目的で、本学を含めた滋賀県・京都府・奈良県に立地する大学及び産業界等が連携する「滋京奈地域人材育成協議会」の設立総会および記念講演会が京都産業大学において開かれました。

▼7月8日

平成27年度課外活動表彰式を実施

課外活動において優秀な成績を修めた団体・個人への表彰式が行われ、賞状および大学後援会からの賞品が授与されました。今回は課外活動表彰式に合わせて、2020年東京オリンピック・パラリンピック大学連携協定に基づく応援セレモニーも開催されました。



▼7月12日

「スマホ・ケータイ安全教室」を開講

奈良・学園前キャンパスにおいて、現代生活学部こども学科の授業「プレゼミ」の一環として教育実習を控えた学生を対象に実施されました。株式会社NTTドコモ関西支社にご協力いただき、教育実習等での学校現場でのスマホ・ケータイに関するリスクマネジメントについて学びを深めました。



表紙の人 ヘルsteam菜良 代表 小笠原 綾音さん 現代生活学部食物栄養学科3年



この度、農林水産大臣賞を受賞できたことを非常に光栄に感じ、顧問の岩橋先生始め、メンバー全員大変喜んでます。私たちの活動は、食物栄養学科で学んだことが実践でき、貴重な経験を沢山体験することができます。(受賞の経緯については本誌4ページに掲載しております。) これからも全てのライフステージの方々に私たちの活動を通して食の大切さを認識してもらい、ヘルsteam菜良を今まで以上に知ってもらえるよう頑張っていきます。後輩たちには、これからも新しいことにチャレンジしつつ、歴代の先輩方が、築いてきた伝統を守ってほしいと思っています。

職員紹介



松田 友梨奈
学生支援センター キャリアセンター (奈良・東生駒キャンパス)

本学に入職4年目になり、現在キャリアセンターにて学生相談・選考書類の添削・就職試験対策ガイダンス等幅広く業務を行っています。常に、「今」の学生には何が合っているのかを念頭に置き、学生に真正面から接することで、関係を築くよう心がけています。話をする中で、学生から気付けられることも多く、私の中では、二人三脚で就職活動に臨んでいる気持ちです。卒業後の進路という大きな岐路にたっている皆さんは、不安な気持ちを抱えていることと思います。そんな皆さんに少しでも勇気を持って選択し、進んでもらえるよう、熱意と、行動で魅せることを目標に日々仕事に励んでいます。大事な選択だからこそ、1人で悩まず、教職員という周囲の“大人”を味方につけて、自分の思う進路を掴み取りましょう。



二階堂 純矢
学生支援センター 教学支援課 (奈良・学園前キャンパス)

突然ですが皆さん、挨拶していますか?挨拶をすると気分がよくなりませんか?私は、大学構内ですれ違う人には、挨拶をするように心掛けています。挨拶を返してもらおうととても嬉しくなります。ある国語辞典には、挨拶とは「人と人が出会ったときや別れるときに交わす儀礼的な動作や言葉。相手に敬意・親愛の意を示す行為で、対人関係を円満にし、社会生活を円滑にする。」と記されています。挨拶は人々をつなぐためにとても重要だと思います。突然、話しかけるのは難しくても普段から挨拶を交わしていれば何か話したい時にも話しかけ易くなりますし、いつも元気に挨拶を返してくれる学生が「いつもの雰囲気と違う」と挨拶を通じて感じることも多いです。皆さん、私を見かけたら、是非、挨拶をしてみてくださいね。そして、友達同士、来学者の方に挨拶を積極的にしてみましょう。

第10回あかね祭(新入生歓迎会)を開催しました



4月24日、奈良・学園前キャンパスにおいて、あかね祭(新入生歓迎会)を開催しました。第10回目となる今年のテーマは「ハピネス～それぞれの幸せのかたち～」。来場される方々の幸せを願い、あかね祭実行委員会は準備に取り組んでまいりました。当日は初夏を感じさせる陽気の中、新入生をはじめ、在学生、地域の方など、約1800名の来場者で賑わいました。同時開催イベントとして2016奈良食育文化祭(第4回奈良グルメフェア)が開かれ、トークショーでは俳優の辰巳琢郎さんが食に関する幅広い知識を披露されました。他にも子どもたちを対象とした「キッズサイエンスクッキング」やビンゴ大会、吉本お笑いライブなど、さまざまなイベントが行われました。また、帝塚山短期大学のホームカミングデーも開催され、多数の卒業生の方にご来場いただきました。



Information from the General Affairs Division

総務課からのお知らせ

奈良・東生駒キャンパスに「ラーニング・commons」「リサーチ・commons」を設置しました。

学生の能動的な学習を支援し、学修時間の確保と学習環境の整備充実を図り、学生の様々な学習スタイルに対応できるよう、「ラーニング・commons」及び「リサーチ・commons」を奈良・東生駒キャンパスに新たに設置しました。

「ラーニング・commons」（1号館・5号館・6号館の3ヶ所）では、壁面ホワイトボード・可動式パーテーションを配置し（6号館）、開放的なスペースを確保するなど、個人・グループを問わず、様々な学びを深める場として活用できる環境を整備しました。「リサーチ・commons」（5号館）については、個人学習、グループ学習、プレゼンテーション練習等の各ラーニング・commonsの特徴を兼ね備えた部屋として、長時間の滞在が可能な対面型ベンチ式ソファやテーブルを設置する等、他のcommonルームにはない特別感のある学習スペースを整備しました。

これら「ラーニング・commons」及び「リサーチ・commons」を活用し、複数教員が連携したオフィスアワーの共同実施等、学生個々への指導を深めて主体的な学習へ導き、多様な学習ニーズに応えてまいります。

【ラーニング・commons】



1号館



5号館



6号館



5号館

【リサーチ・commons】

奈良・学園前キャンパス14号館の内装がリニューアルされました！

奈良・学園前キャンパス14号館の内装がリニューアルされ、学生ホール・トイレが新しく生まれ変わりました。今回の改修は、学生の憩いの場(福利厚生施設)を整備することを目的とした学生会からの寄付により行ったものです。

学生ホールにおいては、家具一式・カーテンの入れ替え・席数の増加を行い、フェイクグリーンによる空間演出やLED照明による照度の向上など、憩いの場にふさわしい環境を整備しました。また、学生ホール内の女子トイレには、新しくパウダールームが設けられました。

学生たちは新たな憩いの場で、学びの合間のひとときを思い思いに過ごす様子がみられました。

【学生ホール】



【女子トイレ】



第5回ホームカミングパーティ開催のお知らせ

平成28年11月20日(日)に帝塚山大学 奈良・東生駒キャンパスにて『第5回ホームカミングパーティ』を開催します。大学祭「虹色祭」開催中の母校で、懐かしの恩師・同窓生と一緒に学生時代にタイムスリップしませんか。

同窓生のみならずお誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

詳しくは、同封の案内チラシをご覧ください。



第4回ホームカミングパーティの様子

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

第10代学園長 古瀬 謹一名誉教授

学校法人帝塚山学園第10代学園長、帝塚山短期大学学長、帝塚山学園理事、評議員を務められた古瀬謹一名誉教授が2月27日、前立腺がんのため逝去されました。享年78歳でした。昭和63年4月から平成6年3月まで短期大学学長、平成11年4月から14年3月まで学園長を務められました。



第10代学長 岩井 宏實名誉教授

帝塚山大学第10代学長で、学校法人帝塚山学園理事、評議員を務められた岩井宏實名誉教授(岩井洋学長の父)が2月29日、肺がんのため逝去されました。享年83歳でした。専門は民俗学で、国立歴史民俗博物館教授の後に、帝塚山大学教授、平成11年4月から14年3月まで学長を務められました。



Information from the Museum

博物館からのお知らせ

ミニ企画展示

「瓦アート展～アートな視点からみたKAWARA～」

本展では学術的な「瓦」のイメージを変えて、アートな視点で見た新たな「瓦」の様相をご覧いただきたいと思います。

【期 間】9/24(土)～10/8(土) 【開館時間】9:30～16:30

【入 場 料】無料 【休 館 日】日曜・祝日

【展示解説】10/8(土)15:45～

第27回特別展示

「赤き瓦たち～高句麗瓦の世界～」

当館が所蔵する多くの古瓦のなかでも特に異彩を放つのが朝鮮古代の国、高句麗の瓦です。その最も大きな特徴は赤い色です。今回の特別展示では当館が所蔵するさまざまな種類の高句麗瓦を厳選して展示し、高句麗瓦の世界を紹介します。



【期 間】10/22(土)～11/20(日) 【開館時間】9:30～16:30

【入 場 料】無料 【休 館 日】日曜・祝日※11/20(日)は大学祭につき開館

【展示解説】10/22(土)15:45～、10/29(土)13:00～約30分

第10回企画展示

「永野太造展～寄贈ガラス乾板資料を中心に～」

昨年本学に寄贈された永野太造氏撮影の文化財写真資料を展示します。永野太造氏はとくに肖像写真を数多く手掛け、高い評価を得ました。本展では寄贈資料から永野太造氏の作品像に迫ります。

【期 間】12/3(土)～12/17(土) 【開館時間】9:30～16:30

【入 場 料】無料 【休 館 日】日曜・祝日

【展示解説】12/3(土)、10(土)15:45～

第9回博物館実習生による企画展示

「型でつくるやきもの(仮)」

【期 間】平成29年1/16(月)～2/4(土)

【開館時間】9:30～16:30

【入 場 料】無料

【休 館 日】日曜・祝日※ただし1/26(木)・27(金)は入試のため休館

【展示解説】1/21(土)、28(土)、2/4(土)15:45～予定

【お問合せ先】

帝塚山大学附属博物館

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783

http://www.tezukayama-u.ac.jp/museum/

Information from the Library

図書館からのお知らせ

大学キャンパスで、奈良県立図書情報館の本が借りられるようになりました。

平成28年2月25日、本学図書館は奈良県立図書情報館(以下、図書情報館)と相互協力に関する協定を締結し、在学生、教職員の方々は、大学キャンパスにしながら、図書情報館の資料の借出し、返却ができるようになりました。図書情報館からの配送は週に1度で、火曜日の17時までに本学図書館カウンターで取り寄せの手続きをすれば、その週の木曜日(但し、学園前は金曜日)には本が届きます。

詳しくは両キャンパス図書館までお問合せください。



August-December

INFORMATION & EVENT NEWS

お知らせ・イベントニュース

夏季一斉休業のお知らせ

帝塚山大学は、8月11日(木)～8月18日(木)まで、夏季一斉休業期間となっています。お電話、メール等のお問合せにはお応えできませんので、あらかじめご了承ください。メールやホームページからのお問合せに対しては、一斉休業終了後に順次対応させていただきます。

Open lecture

公開講座

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館共催 市民大学講座

申込不要 聴講無料

第372回 10月8日(土)14:00～15:30

正倉院の三彩陶器をめぐる諸問題

講師：高橋 照彦氏 (大阪大学)

第373回 10月22日(土)14:00～15:30

高句麗の歴史と文化

講師：井上 直樹氏 (京都府立大学)

第374回 11月12日(土)14:00～15:30

高句麗瓦の歴史とその世界

講師：清水 昭博 (帝塚山大学)

第375回 11月26日(土)14:00～15:30

要申込

※本講座のみ

市民大学ウォーク④

地光寺跡と葛城市歴史博物館特別展「葛城古寺探訪」の見学

講師：清水 昭博 (帝塚山大学)

会場：葛城地域 定員：抽選50名

第376回 12月3日(土)14:00～15:30

(仮)奈良の写真史―工藤利三郎へ入江泰吉まで―

講師：兼古 健悟氏 (入江泰吉記念奈良市写真美術館)

会場：奈良・東生駒キャンパス2号館2101教室

【お問合せ先】

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783

考古学研究所：http://www.tezukayama-u.ac.jp/arch

arch@tezukayama-u.ac.jp

帝塚山大学奈良学総合文化研究所

奈良学への招待XV「大和の中世」

申込不要 聴講無料

第1回 10月29日(土)10:30～12:00

演題 豊臣秀吉の吉野花見と「吉野百首」

講師：鷺森 浩幸 (帝塚山大学文学部教授)

第2回 11月5日(土)10:30～12:00

演題 大和国の南北朝内乱

講師：花田 卓司 (帝塚山大学文学部講師)

第3回 11月12日(土)10:30～12:00

演題 作庭と山水河原者

講師：源城 政好 (帝塚山大学文学部元教授)

第4回 11月26日(土)10:30～12:00

演題 中世都市奈良と維摩会

講師：森川 英純 (大乗院寺社雑事記研究会)

定員：各回100名

会場：奈良・東生駒キャンパス1号館1301教室

【お問合せ先】帝塚山大学 奈良学総合文化研究所

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

Tel 0742-48-8842 (火・木・金 9時～17時)



国際交流

短期語学研修

本学では夏と春の休暇中に海外の協定大学で3コースの短期語学研修を実施しています。研修先はアメリカ(ポートルランド)、スペイン(バリャドリ)、ニュージーランド(クライストチャーチ)の3カ国です。どれも魅力的なプログラムですが、今回はその中からニュージーランド(以下「NZ」)での研修について、ご紹介いたします。研修先のAra Institute of Canterbury(旧校名CPII)は2016年度に他大学と統合し、同国最大の国立高等教育専門



Willowbank Wildlife ReserveにてNZの動物との出会い



ゴンドラにのって Mt.Cavendishの山頂へ



キャンパス内でマオリ文化体験

教育機関の1つとなりました。この春のプログラムは2004年度から2015年度迄に139名もの学生が参加した超人気コースです。人気の理由はクイーンズイングリッシュによる質の高い少人数の授業とダウンタウンに近いキャンパスで学生数の90%以上を占めるキウイ(NZ人)大学生と一緒に過ごせる環境、世界的にも水準が高い幼児教育などの分野もアレンジできるユニークなカリキュラム、さらにダイナミックな自然と羊に囲まれた田舎でのファームステイや、マオリ文化体験などの多彩なアクティビティがあります。何ととっても温かく迎えてくれるホストファミリーと過ごす3週間のホームステイのようです。今年度のNZ短期語学研修は2017年2月頃に開始の予定です(募集は今年11月頃の予定。先着順)。詳しくは同封のチラシもしくは学生生活課(074214114303)まで。

2017年度 帝塚山大学 ファミリー入試のご案内

— 来春、受験を控えたご子息ご息女をお持ちの保護者の皆様へ —

帝塚山大学では、卒業生、もしくは在学中の方のご家族を対象とする入試制度「ファミリー入試」を実施しています。

「ファミリー入試」とは、帝塚山学園の建学の精神・学風を深くご理解いただいた方を、帝塚山大学のファミリーとして歓迎する入試制度です。

出願資格は、学校法人帝塚山学園が設置するいずれかの学校を既に卒業された方、もしくは現在在学している方の2親等以内の親族(配偶者・子・孫・父母・祖父母・兄弟姉妹)で、本学が定める基準を満たし、高等学校を2016年4月1日から2017年3月31日までに卒業された方又は卒業見込みの方です。

出願の際には「帝塚山ファミリー」であることの証明書(卒業証書の写し・卒業証明書等を添付)が必要になります。

選考方法: ①面接②書類審査(調査書・志望理由書)

詳しい出願資格や要件等に関して、必ず事前に入試課までお問い合わせ下さい。オープンキャンパスにご参加のうえにお問い合わせいただくことも可能です。

【お問合せ先】

帝塚山大学 入試課

TEL 0742-48-8821(直通) FAX 0742-48-9021

✉ nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

OPEN CAMPUS 2016

奈良・東生駒キャンパス : 奈良・学園前キャンパス : 奈良・東生駒キャンパス

8/7 (日) : **8/27 (土)・28 (日)** : **9/18 (日)**

12:00 ~ 16:00 : 11:00 ~ 16:00 : 12:00 ~ 16:00

学科体験授業や施設見学、入試説明、在学生との交流など、さまざまなイベントを用意してお待ちしています。お気軽にご参加ください! 【予約不要】

オープンキャンパス開催日以外も! 【予約不要】

大学見学会

9/11 (日)

奈良・東生駒キャンパス
10:00 ~ 11:30
奈良・学園前キャンパス
13:30 ~ 15:00

入試対策講座(奈良・学園前キャンパス)

10/2 (日) : **12/18 (日)**

公募推薦入試対象 : 一般入試対象
9:00 ~ 12:30 : 10:00 ~ 12:30



「大学通信帝塚山」企画・編集委員会

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 TEL 0742-48-9192 FAX 0742-48-6092

✉ koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp

URL : http://www.tezukayama-u.ac.jp/



学校法人 帝塚山学園